

平成30年度経営研究課課題一覧表

研究課題名	内容	研究期間	担当
<p>県産農産物の海外展開を目指した鮮度保持技術の開発と経営的評価</p>	<p>当センターで開発した中長期間での鮮度保持技術を応用し、「コスト低減」「輸送力の強化」「安定供給」を実現するとともに、ハブ国のシンガポールでの青果物専用物流ターミナルの商品管理、保管機能の把握に加え、ターミナルから周辺国までの陸路における環境モニタリング・輸送時品質調査により、物流に係る課題を抽出する。また、周辺国においては、相手国別の需要動向調査を行い、ターゲットとする市場分析および消費者分析により、輸出促進のためのマーケティング戦略を提案する。</p>	<p>H30</p>	<p>企画経営担当</p>
<p>県産農産物の共同選果システム導入による経営的効果・産地形成分析</p>	<p>共同選果システム導入の前後で労働時間、作業工程、労働強度等を比較することでその効果を明らかにする。また、共同選果システム導入が産地に与える効果について分析する。</p>	<p>H29～31</p>	<p>企画経営担当</p>
<p>地域資源を活用した農山漁村活性化手法の研究</p>	<p>ヒオウギ、オモトなど、特産品が市場や消費者から高い評価を得ている地域を対象として、生産流通の状況、地域が抱えている課題、その課題解決に向けた取組などを調査分析することにより、地域の生産活動を再生し、地域の活性化につながる手法を考察する。</p>	<p>H28～30</p>	<p>企画経営担当</p>
<p>果物の東アジア、東南アジア輸出を促進するための輸出国ニーズに適合した生産技術開発及び輸出ネットワークの共有による鮮度保持・低コスト流通・輸出技術の実証研究</p>	<p>輸出向け品種の選抜・生産・正品化率向上技術、鮮度保持、輸送技術の開発を行い、アジアハイウェイを活用した陸路輸送の可能性及び研究成果を反映した実証試験を行う。</p>	<p>H28～30</p>	<p>企画経営担当</p>
<p>薬用作物の国内生産の拡大に向けた技術の開発・ミシマサイコの導入による複合経営モデルの開発</p>	<p>薬用植物であるミシマサイコの2年栽培、発芽促進や雑草防除等の新技術について、収益性や作業性等の経営的評価を行なうとともに、これらの新技術の導入も含め、ミシマサイコと有望既存品目を組み合わせた中山間地域に適した収益性の高い複合経営モデルを作成する。</p>	<p>H28～32</p>	<p>企画経営担当</p>
<p>府県型イアコーンサイレージ生産利用体系の開発と実証</p>	<p>コントラクタにおけるイアコーン収穫業務の成立条件を解明するため、コントラクタ利用組合のデントコーンおよびイヤコーン収穫作業の実態から固定費、変動費を調査し、収量調査と合わせてサイレージ生産費を算出する。</p>	<p>H29～31</p>	<p>企画経営担当</p>